

日 時：2023 年 11 月 29 日（水）15:00～16:30

開催場所：オンライン（Zoom）

委 員 校：神戸大学（委員長校）・大手前大学（副委員長校）

大手前短期大学・関西国際大学・関西福祉大学・関西学院大学・聖和短期大学

甲南大学・神戸医療未来大学・神戸海星女子学院大学・神戸学院大学・神戸市看護大学

神戸芸術工科大学・神戸松蔭女子学院大学・神戸親和大学・神戸常盤大学

神戸常盤大学短期大学部・園田学園女子大学・園田学園女子大学短期大学部

姫路獨協大学・兵庫大学・兵庫大学短期大学部・兵庫県立大学（23 校）

I. 協議事項

1. 2023 年度教育連携委員会事業自己評価（案）について（資料 1）
2. 2024 年度単位互換事業マニュアル（案）について（資料 2）
3. 2024 年度の単位互換事業の開放科目選定のご依頼について（資料 3）
4. その他

II. 報告事項

1. 2023 年度教育連携委員会事業 単位互換事業の実施状況について（資料 4）
2. 大学コンソーシアムひょうご神戸ホームページ「多様な学修機会の提供」、
「ICT を活用」したコンテンツについて（資料 5）
3. その他

III. 懇談事項

1. 大学コンソーシアムひょうご神戸の付加価値について（資料 6）
2. その他

IV. 連絡・調整事項

1. 2023 年度の教育連携委員会開催予定と主な議題について
第 4 回委員会 2 月：2024 年度 事業計画・予算（案）
第 5 回委員会 3 月：2023 年度 事業報告・決算（案）
2. その他

以上

<資料一覧>

資料 1：2023 年度 教育連携委員会事業 自己評価（案）

資料 2-1：2024 年度単位互換事業マニュアル（案）（教職員用）

資料 2-2：【記入用】2024 年度単位互換事業科目一覧表

資料 2-3：【学校名】2024 シラバス様式

資料 2-4：2024 年度単位互換事業マニュアル（案）（学生用）

資料 2-5：【学校名】2024 年度履修申込書

資料 2-6：【学校名】2024 年度履修学生一覧表

資料 2-7：【学校名】単位互換事業 履修に関する辞退について（ご依頼）

資料 2-8：【学校名】単位互換事業 履修に関する辞退について（辞退承認）

資料 3：2024 年度の単位互換事業の開放科目選定のご依頼について

資料 4：2023 年度単位互換事業 履修申込状況・2023 年度科目一覧表

資料 5：多様な学修機会の提供事業 実績一覧 2023 年 4 月～10 月

資料 6：大学コンソーシアムひょうご神戸の付加価値について

【2023年度 教育連携委員会 自己評価】(案)

委員長校 : 神戸大学

副委員長校: 大手前大学

委員校: 大手前短期大学、関西国際大学、関西福祉大学、関西学院大学、聖和短期大学、甲南大学、
神戸医療未来大学、神戸海星女子学院大学、神戸学院大学、神戸芸術工科大学、神戸市看護大学、
神戸松蔭女子学院大学、神戸親和大学、神戸常盤大学、神戸常盤大学短期大学部、園田学園女子大学、
園田学園女子大学短期大学部、姫路獨協大学、兵庫大学、兵庫大学短期大学部、兵庫県立大学 計23校

<目的>

加盟校の教育・研究の質を高める「多元的学び」を提供する取り組みとして、加盟校の教育事業についての相互連携、教育資源及びテクノロジー活用に関する相乗効果を図る。

「大学間連携による多様な教育ニーズ」に対応する教育活動を通じて、多様な学生の交流を促進し、学修動機と学修経験の強化、教育効果の向上を目指す。

さらに、学生の所属校の垣根を越えた学びに対して単位認定の道を開くことで、学生が幅広く深い教養及び総合的な判断力を培い、豊かな人間性の涵養を図るとともに、コンソーシアム事業への参画の動機づけや、地域貢献活動の実現も期待する。

<内容>

1. 単位互換事業の実施

加盟校において幅広い科目の履修や学びの機会を提供するため、兵庫県の地域特性や加盟校の特徴を生かした授業及び集中講義を中心とした単位互換事業を実施する。その際に「多様なメディアを高度に利用した」科目等も取り入れる。

2. 多様な学修機会の提供

加盟校に通う学生等に多様な学修機会を提供するため、加盟校が実施する講座等を開放し、学びの機会を継続的に提供する。

<期待される効果>

1. 単位互換事業の実施

- (1)「多様なメディアを高度に利用した」授業科目を本格的に取り入れることで、大学間の地理的・時間的課題を解消し、より多くの学生に大学の枠を超えた学びの場の提供をすることによる教育効果の向上。
- (2)コンソーシアム事業(国際交流、地域連携、社会連携等)に対する学生への意識づけの促進。

2. 多様な学修機会の提供

- (1)加盟校の教育資源を活用する「多元的学びの機会」を継続的に提供することによる、加盟校の教育事業についての相互連携、教育・研究の質の向上。
- (2)異なる分野の学生等の交流促進による広い視野を持った人材の育成。

課題⑦ 大学間連携による多様な教育ニーズへの対応		予算額
取組1	単位互換事業	520,000円
取組2	多様な学修機会の提供事業	80,000円

【2023年度 教育連携委員会 自己評価(⑦取組1)】

【⑦取組1】達成目標	各年開放科目数10科目以上
【⑦取組1】活動指標	送り出し校数・5校/年

課題⑦	大学間連携による多様な教育ニーズへの対応
達成目標 【⑦取組1】	各年開放科目数10科目以上
課題を解決する 取組概要 【⑦取組1】	単位互換事業の実施
活動指標 【⑦取組1】	送り出し校数・5校/年

内容 (結果)	<p>1. 2023年度単位互換事業 加盟校学生に、幅広い科目の履修や学びの機会を提供するため、兵庫県の地域特性や各大学の特徴を活かした内容の授業及び集中講義を中心とした単位互換事業を実施した。</p> <p>(直近3か年の推移は以下のとおり)</p> <p>2023年度 17校、開放科目数82科目、履修者16名(6大学)※ 2022年度 15校、開放科目数85科目、履修者42名(8大学) 2021年度 11校、開放科目数43科目、履修者29名(8大学) ※履修者16名の内訳: 対面10人、オンデマンド3名、オンライン2名、ブレンド1名</p> <p>上記の通り、2023年度は当初計画の達成目標(開放科目数10科目以上)ならびに、活動指標(送り出し校数5校以上)を達成することができた。</p> <p>2. 2024年度に向けた取組み</p> <p>①単位互換包括協定書締結大学の拡大 ・協定未締結校に対して依頼文書を発出した(11月中旬締切) ・2023年度 協定書締結大学 : 34校(27大学、1専門職大学、6短期大学・部)</p> <p>②単位互換事業の広報活動について 学生への周知拡大を図るため、神戸芸術工科大学の協力のもと、ポスターとチラシを作成中。</p> <p>③開放科目の選定 12月以降に協定書締結校へ照会予定</p>			
新しい試み等 (事業計画に記載)				
事業収支	収入	支出	収支	備考
	520,000円	0円	0円	10月31日現在

自己評価	【対到達目標】	3	【対継続性】	4
	<p><達成目標> 開放科目数10科目以上 <活動指標> 送り出し校数5校/年 <2023年度実績> 開放科目数82科目、送り出し校数6校。</p> <p>評価としては当初計画を達成しており、プログラムを継続すべきと思われる。</p> <p>なお、コロナウイルス感染症の影響も落ち着き、今年度から従来の対面授業中心の授業形態に戻ってきた影響で、逆に時間的制約から単位互換事業に参加できなくなった学生が多かったために履修者が減少したのではないかと推測される。今後も引き続いて、教育のICT化によりできるだけ距離的・時間的制約を減らす工夫をしながら単位互換事業を行い学生へ多様な学びの機会の提供に繋げていきたい。</p>			

■自己評価基準
(対到達目標)

4: 当初計画を上回って達成
3: 当初計画を達成
2: 当初計画をやや下回った
1: 当初計画を下回った

■自己評価基準
(対継続性)

4: 本プログラムは継続すべき
3: 本プログラムは継続しても良い
2: 本プログラムの継続には改善が必要
1: 本プログラムは中止すべき

理事会からの 改善提案 (次年度事業計画に反映)	
--------------------------------	--

【2023年度 教育連携委員会 自己評価(⑦取組2)】

【⑦取組2】達成目標	各年プログラム数5件以上
【⑦取組2】活動指標	参加者数50人以上/年

課題⑦	大学間連携による多様な教育ニーズへの対応			
達成目標【⑦取組2】	各年プログラム数5件以上			
課題を解決する取組概要【⑦取組2】	多様な学修機会の提供			
活動指標【⑦取組2】	参加者数50人以上/年			
内容 (結果)	<p>加盟校に通う学生等に、多様な学修機会を提供するため、本計画期間内において、加盟校が実施する講座等を開放し、学びの機会を継続的に提供するするとともに、「大学eラーニング協議会共通基盤教育システム」を広く加盟校に運用していただきながら、ICTを活用したコンテンツ制作の支援活動を行う。</p> <p>1. 公開講座等の大学コンソーシアムひょうご神戸加盟校への開放 6校17件の公開講座等を大学コンソーシアムひょうご神戸加盟校の教職員ならびに学生へ広く開放し、多様な学修機会を提供した。開放校より報告のあった参加者数は計934名であった(情報提供があった6校8講座の集計結果による)。 上記の通り、2023年度は当初計画の達成目標(年プログラム数5件以上)ならびに、活動指標(参加者数50人以上)を達成することができた。</p> <p>2. ICTを活用したコンテンツの検討 「大学eラーニング協議会共通基盤教育システム」を教育連携委員会委員校以外の加盟校にも広く周知するとともに、昨年度に引き続き「教育コンテンツ提案」WGを開催した。WGでは、ICTを活用した授業コンテンツ等について、大学間の情報交換やコンテンツ制作支援につながる活動を引き続き行う。 ・2023年度 第1回「教育コンテンツ提案」WG企画 近年の生成系AIをめぐる大学教育の動向について 日時: 2023年7月19日(水) 10:00～11:30 場所: Zoom会議(オンライン) 参加者数: 総計13名 (内訳) 加盟校5校10名: 大手前大学(3)・関西国際大学(2)・神戸大学(1)・園田学園女子大学(1)・兵庫県立大学(3)、コンソ事務局(3)</p>			
新しい試み等 (事業計画に記載)				
事業収支	収入	支出	収支	備考
	80000円	30,880円	49,120円	10月31日現在

自己評価	【対到達目標】	3	【対継続性】	3
	<p><達成目標> 各年プログラム数5件以上 <活動指標> 参加者数50人以上/年 <2023年度実績> 実施プログラム数17件、参加者数934名(情報提供があった5校9講座の集計結果)。評価としては当初計画を達成しており、プログラムを継続してもよいと思われる。</p> <p>①公開講座等の大学コンソーシアムひょうご神戸加盟校への開放 多様な学修機会を提供するために加盟校に通う学生等に開放できる公開講座等を開放したことで、授業とは異なる新たな気づきを学生に芽生えさせることができた。</p> <p>②ICTを活用したコンテンツの検討 多くの大学で導入されつつあるオンライン授業のコンテンツ制作を念頭に、生成AIなどの新技術の教育への影響について検討した。具体的には、この課題に関する加盟校の実務者からの情報提供をもとに、生成AIへの対応に関する各大学の状況と想定される課題について意見交換を行った。</p>			

■自己評価基準
(対到達目標)

4: 当初計画を上回って達成
3: 当初計画を達成
2: 当初計画をやや下回った
1: 当初計画を下回った

■自己評価基準
(対継続性)

4: 本プログラムは継続すべき
3: 本プログラムは継続しても良い
2: 本プログラムの継続には改善が必要
1: 本プログラムは中止すべき

理事会からの改善提案 (次年度事業計画に反映)	
----------------------------	--

2024 年度

大学コンソーシアムひょうご神戸 単位互換事業マニュアル（教職員用）【案】

I. 単位互換事業とは

単位互換制度とは、単位互換協定に加盟している大学・短期大学に所属する学生が、他の加盟大学・短期大学が開放する科目を履修でき、取得した単位が学生所属校の単位として認定される制度であり概要は以下のとおりである。

事業所管委員会	教育連携委員会
事業参画要件	大学コンソーシアムひょうご神戸「単位互換事業における包括協定書」を締結していること
対象学生	単位互換協定に加盟している大学・短期大学に所属する学生 1年生（留年生も含む）の夏季休業からの在学期間中。ただし、短期大学は1 年生前期から対象とする
開放科目の選定要件	集中開講科目（国内合宿型、集中型実技・実習等特別プログラム）及び兵庫県 地域特性や各校の特徴的な通常開講科目等
学生所属校	包括協定書締結校のうち、学生を送り出す大学・短期大学を示す
科目開放校	包括協定書締結校のうち、科目を開放する大学・短期大学を示す

II. 単位互換事業フロー（No1-6 は 2024 年度、No7-20 は 2025 年度に向けての対応）

No.	内容	時期（予定）	対応者
1	包括協定書締結校において学生募集実施※1	2024 年 3 月 25 日～ 2024 年 4 月 4 日	包括協定書 締結校
2	学生所属校（履修希望学生がいる場合のみ）は「履修申込書 類」をコンソ事務局へ提出 （コンソ事務局は、必要に応じて委員長校へ状況報告）	2024 年 4 月 5 日まで （履修登録期間）	学生所属校
3	コンソ事務局より履修希望学生の「履修申込書・履修学生一 覧表」を科目開放校へ送付（コンソ事務局は、必要に応じて 委員長校へ状況報告）	2024 年 4 月上旬 ～中旬 （履修登録期間後）	コンソ 事務局
4	科目開放校から学生所属校・コンソ事務局へ履修可否の連絡	2024 年 4 月 10 日 （目安）	科目開放校
5	学生所属校から履修学生へ履修可否の連絡	2024 年 4 月中旬	学生所属校
6	当該年度学生所属校へ受講者アンケート実施依頼	2024 年 7 月	コンソ 事務局
	当該年度の前期受講者アンケート提出期限	2024 年 10 月末	学生所属校
	当該年度の後期受講者アンケート提出期限	2025 年 2 月中旬	学生所属校

二次募集・三次募集の詳細は「IV. 履修登録スケジュール」参照

No.	内容	時期（予定）	対応者
7	包括協定書第9条に基づく取りやめ申し入れに係る意向確認	2024年7～11月末	コンソ事務局
8	包括協定書未締結校へ締結依頼文書を送付し、意向確認（依頼文書は委員長校に確認のうえコンソ事務局が送付）	2024年8～11月末	コンソ事務局
9	広報ツール（ポスター・チラシ）の検討	2024年10～11月	委員長校
10	上記7・8の結果を踏まえた次年度包括協定書を取りまとめ、次年度の実施方針を協議	2024年11月末	教育連携委員会
11	上記10の結果を踏まえ、包括協定書締結校へ開放科目（概要）を照会（シラバス提出期限の事前連絡を兼ねる）	2024年12月初旬～ 2025年1月末	コンソ事務局
12	広報ツール（ポスター・チラシ）の制作	2024年12月下旬（初稿）、2025年3月初旬校了	コンソ事務局
13	上記11の結果を踏まえた次年度開放科目を取りまとめ、委員長校へ報告	2025年2月初旬	コンソ事務局
14	次年度開放科目決定（メール審議）※2	2025年2月初旬～中旬	教育連携委員会
15	上記14に基づき、科目開放校へシラバス（コンソ統一様式）提出依頼	2025年2～3月初旬	コンソ事務局
16	開放科目シラバス取りまとめ	2025年3月初旬	コンソ事務局
17	包括協定書締結校へ開放科目を周知	2025年3月下旬	コンソ事務局
18	webシステム更新（広報ツールデータのwebアップ含む）	2025年3月初旬～下旬 （掲載内容確認含む）	コンソ事務局
19	広報ツールを包括協定書締結校へ納品・学生募集（提出書類等）についての案内	2025年3月下旬	コンソ事務局
20	次年度事業概要報告	2025年3月中旬～下旬	コンソ事務局

※1 学生募集について

No1の時点（一次募集）で前期分・後期分をまとめて行う。二次・三次募集は、集中講義科目と後期科目について、科目開放校の意向を確認のうえ、希望校があった場合のみ行う。

※2 開放科目の追加について

基本的にはNo14の時点で当該年度の開放科目を確定するが、包括協定書締結校より開放科目追加の申し出があった場合は、随時、メール審議等において開放科目追加を審議・決定する。

No.1 包括協定書締結校において学生募集

(1) 包括協定書締結校における学内申込期間の設定

・留学生は、他大学での授業を支障なく受講できると学生所属校で判断された場合のみ申込を受

け付ける。

・卒業年次生は、卒業要件ギリギリの状態での履修は避けるよう、履修指導を行うこと。

(2) 申込者が募集人数を超えた場合

各協定書締結校内で募集人数枠以内になるように調整する。

No.2 学生所属校は履修申込書類をコンソ事務局へ提出（コンソ事務局は、必要に応じて委員長校へ状況報告）

学生から履修申込があった学生所属校は、各期日までにコンソ事務局に、履修申込書・学生証の写し及び履修学生一覧表を原則としてメールと郵送にて提出する。ただし、学生所属校と科目開放校双方の合意がある場合は電子データのやりとりのみも可とする。

各校への提出方法についてコンソ事務局より学生募集を開始する前に包括協定書締結校へ照会を行う。**（開放科目照会時）**

メール提出（※必須）⇒履修申込書及び学生証写し（Excel データ、PDF データ）・履修学生一覧表（Excel データ）
郵送提出⇒履修申込書・履修学生一覧表原本

※履修申込書については、顔写真が鮮明に写った「学生証の画像データ」と「顔写真」の画像データを添付することとする。

No.3 コンソ事務局より履修申込書・履修学生一覧表を科目開放校へ送付（コンソ事務局は、必要に応じて委員長校へ状況報告）

コンソ事務局にて、履修申込書及び履修学生一覧表をとりまとめ、各科目開放校へ送付のうえ、必要に応じて委員長校へ状況報告する。

① 履修申込書及び学生証写し（Excel データ、PDF データ）・履修学生一覧表（Excel データ）
→ メールにて送付

② 履修申込書原本・履修学生一覧表原本 → 追って郵送

ただし、学生所属校と科目開放校双方の合意がある場合は電子データのやりとりのみも可とする。

No.4 科目開放校から学生所属校・コンソ事務局へ履修可否の連絡

科目開放校は出願のあった申込学生についての履修可否の連絡を学生所属校・コンソ事務局へメールにて行う。

（履修可否記入済の履修申込書及び履修学生一覧表をデータ送付）

なお、履修申込書原本については、受入可否を記載の上、科目開放校が保管する。

No.5 学生所属校から履修学生へ履修可否の連絡

学生所属校は速やかに学生へ履修可否の連絡を行う。

履修許可書についてはコンソ統一様式のものを作成せず、必要であれば各大学で発行する。

※履修の可否が確定していない期間の授業については、可能な限り出席するよう申込学生に指導を行うので、科目開放校は出席を拒まないこと。

No.6 当該年度所属校へ受講者アンケート実施依頼

コンソ事務局は学生所属校へアンケート実施を依頼する。学生所属校は受講後の学生に案内を行う。

No.7 包括協定書第9条に基づく取りやめ申し入れに関わる意向確認

包括協定書の有効期限は、原則締結日から 1 年度であり、その後は締結校から取り止めの意思がなければ自動継続となっていることから、継続意思の確認を行う。

No.8 包括協定書未締結校へ締結依頼文書を送付し、意向確認

包括協定書未締結校に対し、包括協定書締結に係る依頼文書を発送する。

No.9 広報ツールの検討

ポスター及びチラシなどの広報ツールの制作について検討する。

（これまでは神戸芸術工科大学の学生に制作を依頼）

No.10 次年度包括協定書締結校をとりまとめ、次年度の実施方針を協議

- ・ No.7 及び No.8 の結果をふまえ、次年度包括協定書をとりまとめ、教育連携委員会にて次年度の実施方針を協議する。なお、本マニュアルを改訂する必要がある場合は、教育連携委員会開催案内時に改訂案を送付するなど、事前の情報共有に努める。
- ・ 教育連携委員会で新規承認された大学に対し、次年度に向けた包括協定書調印手続きを行う。

No.11 包括協定書締結校へ開放科目（概要込）を照会

包括協定書締結校に対して開放科目を照会し、シラバス提出期限が 3 月初旬であることも併せて連絡する。

No.12 広報ツールの制作

3 月完成を目途に、広報ツール（ポスター、チラシ）を作成する。

No.13 次年度開放科目をとりまとめ、委員長校へ報告

科目開放校はコンソ事務局へ開放科目一覧表を提出する。

提出された開放科目一覧表はコンソ事務局にてとりまとめ、委員長校へ報告する。

No.14 次年度開放科目決定

No.13 で報告された結果をもとに、教育連携委員会にて開放科目を決定する。（メール審議）

No.15 シラバス提出依頼

コンソ事務局より科目開放校へシラバス提出を依頼する。シラバス様式は、コンソ統一様式とし、科目開放校のシラバス様式での提出は認めない。なお、開講期間や時間、補講、試験等は科目開放校の規定を適用する。

No.16 開放科目シラバスとりまとめ

科目開放校はシラバスを作成の上、3 月初旬までにコンソへ提出する。なお、科目開放校は、開放科目の詳細など学生に配布できる資料がある場合は、併せて提出する。

No.17 包括協定書締結校へ開放科目を周知

コンソ事務局にて開放科目をとりまとめ、包括協定書締結校へ開放科目の周知を行う。

No.18 Web システム更新

コンソホームページに設置されている単位互換事業ページで開放科目についての情報を公開する。

No.19 広報ツールを包括協定書締結校へ、納品・学生募集（提出書類等）についての案内

広報ツール（ポスター、チラシ）を包括協定書締結校へ納品する。

コンソ事務局より協定書締結校へ学生募集（提出書類等）についての案内を行う。

No.20 次年度事業概要報告

書面にて（3 月中旬～下旬頃）、次年度の事業概要の報告を行う。

Ⅲ. 履修に関して

1. 連絡について

- (1) 履修・授業・試験・成績等に関する学生からの問い合わせは、学生所属校を通じて行う。
学生所属校を通じて連絡・案内する場合は、各々の定める方法で行う。
授業開始までの、科目開放校での講義を受講する際の注意や試験の実施方法等の案内、学生からの問い合わせは学生所属校を通じて行う。基本的に学生から科目開放校へ問い合わせないように指導すること。
- (2) 緊急時の場合は、科目開放校から学生へ直接連絡することがある。また、学生からも科目開放校へ直接連絡することを容認する。
- (3) 履修を許可された後については、科目開放校の担当窓口の指示に従うこととする。

2. 履修辞退について

- (1) 科目開放校から履修許可が出たのちに、やむを得ない事情により履修辞退の申し出があった場合は速やかに学生所属校より科目開放校とコンソ事務局にメールで「辞退依頼書」写し（PDF データ）を送付した後、原本を科目開放校に郵送する。なお、科目開放校において履修辞退が認められない場合もある。
 - (2) 科目開放校は「辞退依頼書」を受領した後、科目開放校の規定を適用し、履修辞退を認める場合は、「辞退承認通知」写し（PDF データ）を学生所属校とコンソ事務局に送付した後、原本を学生所属校に郵送する。
- ※学生所属校と科目開放校双方の合意がある場合は「辞退依頼書」及び「辞退承認通知」については電子データのやりとりのみも可とする。（学生所属校があらかじめ科目開放校に確認するものとする。）

メール提出（※必須）⇒「辞退依頼書」又は「辞退承認通知」写し（PDF データ） 郵送提出⇒「辞退依頼書」又は「辞退承認通知」原本

3. 学生対応について

- (1) 履修生専用の身分証はコンソ共通のものは作成せず、必要に応じて科目開放校にて準備する。
- (2) また、科目開放校は、履修生が図書館、食堂等の厚生施設を、科目開放校発行の身分証もしくは学生所属校の身分証の提示により使用できるように取り計らう。
- (3) 各加盟校に単位互換に関する規定や内規等がある場合は、その範囲内で運用することとする。
- (4) 学生の学生所属校は、履修を途中で辞めないように指導する。ただし、特別な事情がある場合は、大学間で履修取り消しを決定の上、コンソ事務局へ報告する。

4. 休校・補講について

- (1) 休講要件等、履修のうえで必要な情報について、学生所属校は科目開放校から情報を入手し、学生へ説明しておくこと。
- (2) 休校・補講やその他授業に関する伝達事項が発生した場合は、科目開放校から学生所属校へ発信する。また、学生への連絡は学生所属校の定める方法で行う。
事前に決定されている休校・補講である場合は授業時に科目開放校担当者から学生へ案内する。ただし、学生には日頃から科目開放校の掲示板などで情報を確認する習慣を身に着けるように指導すること。
- (3) 災害などの場合
災害など、予測ができない状況における休校については、基本的に科目開放校のホームページに情報を掲載する。なお、急を要する場合の連絡については、学生と科目開放校との間で直接対応を可とする。

5. 公欠（公休）について

公欠（公休）等の出欠の取り扱いは、科目開放校の規定を適用する。

6. 試験について

- (1) 定期試験の時間割は、科目開放校から学生所属校へ定期試験通知書を送付する。
- (2) また、学生への連絡は学生所属校の定める方法で行う。但し、学生所属校との試験と重複した場合は、学生所属校の試験を優先させ、科目開放校と協議する。
- (3) 追試験及び再試験については、科目開放校の実施基準を適用する。なお、実施の有無は科目開放校の責任において学生全員に周知することとする。
- (4) 授業期間外に、独自の時間割を設定して定期試験を実施する場合は、原則科目開設曜日・時限での実施とする。

7. 成績通知について

- (1) 科目開放校は、定められた期日までに学生所属校へ送付し、評価の確認は関係する大学担当間で行う。その際の成績通知は自由形式とするが、必ず 100 点満点に換算した「素点」を加える。
- (2) 定められた期日より早い送付を希望する大学は、個別に各大学へ依頼する。
- (3) 学生への通知は、学生所属校よりそれぞれの大学の定める方法で行う。
(学生から直接科目開放校へは問い合わせないこと)

IV. 履修登録スケジュール

	No	事項	日程案
一次募集	1	コンソ事務局より包括協定書締結校へ開放科目（概要込）照会	2023年12月1日～2024年1月31日
	2※	コンソ事務局より包括協定書締結校へポスター・チラシ表面デザイン共有	2023年12月25日
	3	開放科目決定（コンソ事務局より委員長校・副委員長校へメール審議）	2024年2月5日～2月9日
	4	科目開放校よりコンソ事務局へシラバス提出	2024年2月12日～3月1日
	5	コンソ事務局にてシラバスのページ更新	2024年3月2日～3月11日
	6※	ポスター・チラシデザイン完成	2024年3月4日
	7	科目開放校にてシラバス HP 掲載内容確認依頼（1回目）	2024年3月12日～3月15日
	8	科目開放校にてシラバス HP 掲載内容確認依頼（予備）	2024年3月19日～3月22日
	9※	コンソ事務局にてポスター・チラシ印刷し送付。 包括協定書締結校にて掲出	2024年3月20日
	10	コンソ事務局より、包括協定書締結校へ一次募集開放科目周知	2024年3月25日
	11	包括協定書締結校にて学生募集、受付	履修登録期間：2024年3月25日～ 2024年4月4日（案）
	12	学生所属校は履修申込書類をコンソ事務局へ提出	メール：4月5日 午後12時まで 郵送：4月8日 午後15時まで
	13	コンソ事務局より、科目開放校へ履修申込書類を送付	2024年4月上旬～中旬（履修登録期間後）
	14	科目開放校から学生所属校・コンソ事務局へ履修可否の連絡	2024年4月10日（目安）
	15	申込学生への通知	通知受領後、速やかに伝える
	16	アンケート実施依頼	2024年7月
二次募集	1	包括協定書締結校へ二次募集科目照会	2024年5月中旬～5月下旬
	3	開放科目決定（コンソ事務局より委員長校・副委員長校へメール審議）	2024年5月下旬
	4	科目開放校よりコンソ事務局へシラバス提出	2024年5月中旬～5月下旬
	5	コンソ事務局にてシラバスのページ更新	2024年5月中旬～5月下旬
	7	科目開放校にてシラバス HP 掲載内容確認依頼（1回目）	2024年5月下旬
	8	科目開放校にてシラバス HP 掲載内容確認依頼（予備）	2024年5月下旬
	10	コンソ事務局より、包括協定書締結校へ一次募集開放科目周知	2024年6月上旬
	11	包括協定書締結校にて学生募集、受付	履修登録期間：2024年6月5日～7月5日（案）
	12	学生所属校は履修申込書類をコンソ事務局へ提出	メール：7月8日 午後12時まで 郵送：7月9日 午後15時まで（案）
	13	コンソ事務局より、科目開放校ごとに履修申込書類を送付	7月上旬
	14	科目開放校から学生所属校・コンソ事務局へ履修可否の連絡	2024年7月中旬
	15	申込学生への通知	通知受領後、速やかに伝える

	16	アンケート実施依頼	2024 年 10 月末
三次募集	1	包括協定書締結校へ三次募集科目照会	2024 年 7 月中旬～8 月上旬
	3	開放科目決定（コンソ事務局より委員長校・副委員長校へメール審議）	2024 年 8 月上旬
	4	科目開放校よりコンソ事務局へシラバス提出	2024 年 7 月中旬～8 月上旬
	5	コンソ事務局にてシラバスのページ更新	2024 年 8 月上旬
	7	科目開放校にてシラバス HP 掲載内容確認依頼（1 回目）	2024 年 8 月上旬
	8	科目開放校にてシラバス HP 掲載内容確認依頼（予備）	2024 年 8 月上旬
	10	コンソ事務局より、包括協定書締結校へ一次募集開放科目周知	2024 年 8 月中旬
	11	包括協定書締結校にて学生募集、受付	履修登録期間：8 月 23 日～9 月 12 日 (案)
	12	学生所属校は履修申込書類をコンソ事務局へ提出	メール：9 月 13 日 午後 12 時まで 郵送：9 月 16 日 午後 15 時まで(案)
	13	コンソ事務局より、科目開放校ごとに履修申込書類を送付	2024 年 9 月中旬
	14	科目開放校から学生所属校・コンソ事務局へ履修可否の連絡	2024 年 9 月下旬
	15	申込学生への通知	通知受領後、速やかに伝える
	16	アンケート実施依頼	2025 年 2 月

※一次募集時のみの対応

V. 単位互換事業協定書締結校（2023.11月現在）

No	学校名	協定書	No	学校名	協定書
1	芦屋大学	○	20	神戸女子短期大学	○
2	大手前大学	○	21	神戸親和大学	○
3	大手前短期大学	○	22	神戸常盤大学	○
4	関西国際大学	○	23	神戸常盤大学短期大学部	○
5	関西福祉大学	○	24	神戸薬科大学	○
6	関西学院大学	○	25	園田学園女子大学	○
7	聖和短期大学	○	26	園田学園女子大学短期大学部	○
8	甲南大学	○	27	宝塚医療大学	○
9	甲南女子大学	○	28	姫路大学	○
10	神戸大学	○	29	姫路獨協大学	○
11	神戸医療福祉大学	○	30	兵庫大学	○
12	神戸海星女子学院大学	○	31	兵庫大学短期大学部	○
13	神戸学院大学	○	32	兵庫県立大学	○
14	神戸芸術工科大学	○	33	芸術文化観光専門職大学	○
15	神戸国際大学	○	34	流通科学大学	○
16	神戸市外国語大学	○			
17	神戸市看護大学	○			
18	神戸松蔭女子学院大学	○			
19	神戸女子大学	○	合計		34校

以上

《2024年度単位互換事業 科目一覧表》

大学名		土曜・祝日の扱い	シラバスの形式	人数制限等	追試験の有無	その他								
開放科目名	分野	担当者	単位数	開講キャンパス	開講方法			開講形態	受入れ人数	開講日数(予定)	履修希望期間 (単位互換専攻で受け可能な最大期間)	履修可否結果の通知日	成績発表の時期	備考
					授業形態	履修上の留意事項	フレンド型のみ記載 授業方法							

大学コンソーシアムひょうご神戸
2024 年度 単位互換開放科目 シラバス

資料2-3

科目名 (英語表記)		担当教員	
定 員		単位数	
学校名		連絡先	
開講学期		開講期間	
曜日・時限		教 室	
履修条件		キャンパス	
授業形態			
授業方法			
学習目標			
授業概要			
授業時間学習 以外の学習 (準備学習含む)			
評価方法			
教科書			
参考書			
特記事項			
授業計画			

2024 年度

大学コンソーシアムひょうご神戸 単位互換制度マニュアル（学生用）【案】

I. 単位互換制度とは

単位互換制度とは、単位互換協定に加盟している大学・短期大学に所属する学生が、他の加盟大学・短期大学が開放する科目を履修でき、取得した単位が所属する大学・短期大学（以下「所属校」という。）の単位として認定される制度です。**この制度は、原則、大学に在学する1年生の夏季休業以降を対象としますが、短期大学は1年生前期から対象としています。**

年間で履修できる科目数や取得できる単位数は、各自の所属校によって取り扱いが異なりますので、事前に所属校で確認してください。

なお、受講料は無料ですが、受講科目によっては、所定の実習費や材料費等が必要になる場合があります。

【非対面形態の開放科目を履修するうえでの留意点】

2024 年度は、オンライン型やオンデマンド型など、非対面形態での開放科目を提供しますが、履修に必要な ICT 環境（受信端末や Wi-Fi 等）は履修者自身で整えることを前提としています。

履修にあたっては、履修前に必ず以下の点を確認するようにしてください。

- ・自身の ICT 環境に不安がある場合は、所属校を通じて科目開放校に履修に必要な ICT 環境を確認する。
- ・自身で ICT 環境を整えられない場合は、所属校が有する通信設備（コンピューター室等）を利用できるか確認する。

II. 履修手続について

1. 申込期間

単位互換科目は、履修登録期間（3 月下旬から 4 月上旬ごろ）に、前期分後期分取りまとめて履修申込期間を設けています。なお、科目開放校の都合により、夏期・後期科目の募集を追加で行う場合もあります。

2. 申込手続き

所属校で出願受付を行います。なお、所属校ごとに申込期間が異なりますので、詳細については必ず所属校にご確認ください。また、卒業年次生の履修について、卒業要件単位を満たすための履修は認めません。

・1次募集（前期申込）：3 月 25 日（月）～4 月 5 日（木）（全科目対象※1）

・2次募集：5 月頃（夏季集中講義・後期・秋学期開講科目対象）

・3次募集：8～9 月頃（後期・秋学期開講科目対象）

※1次募集を原則としておりますので、できるだけ1次募集（前期申込）期間に手続きを行ってください。

- ①申込期間内に、履修申込書に必要事項を記入し、所属校担当窓口に提出してください。履修申込書は 1 科目につき 1 枚提出とします。提出の際は顔写真が鮮明に写った学生証のコピーを添付してください。

なお、申込書は大学コンソーシアムひょうご神戸 HP よりダウンロードできます。

<https://www.consortium-hyogo.jp/compatible/>

※履修許可後の受講辞退は原則認めません。履修計画をしっかりと立てて申し込みを行ってください。

- ②履修の可否について、申し込みから約 2～3 週間後に所属校を通じて通知します。科目開放校に直接問い合わせをしないようにしてください。**※履修可否の連絡日については一部例外あり**

3. 仮受講について

通年科目または前期科目の場合、申し込みして履修許可通知があるまでに多くの科目で授業が開始されます。これらの科目に申し込みした場合は、履修可否通知があるまでその申込科目を仮受講してください。なお、履修が許可されるまでの期間は、科目開放校での講義を受講する際の注意や試験の実施方法等の案内などの問い合わせは所属校を通じて行います。問い合わせがある場合は、まず所属校の担当窓口ご連絡してください。

ただし、科目開放校の施設などの諸条件から、申込者が授業定員を超えた場合、履修不可となる場合があります。

Ⅲ.履修について

連絡について

履修・授業・試験・成績等に関する連絡は所属校を通じて行いますが、履修を許可された後については、科目開放校の担当窓口の指示に従ってください。

また、緊急時の場合は科目開放校から直接連絡することがあります。

1. 施設利用について

履修生の身分は、科目開放校発行の身分証もしくは所属校の学生証で証明するものとします。

履修期間中、科目開放校での図書館や食堂等の厚生施設を、科目開放校発行の身分証もしくは所属校の学生証の提示により利用することができます。ただし、使用できる施設は科目開放校の定めるところとします。

2. 休講・補講について

休講や補講、その他授業に関する伝達事項が発生した場合は科目開放校から所属校へ連絡をします。所属校からの連絡に従ってください。また、災害など急を要する場合の連絡については、科目開放校のホームページを確認の上、直接連絡をしても構いません。

3. 公欠(公休)について

公欠(公休)等の出欠の取り扱いは、科目開放校の規定を適用します。

4. 試験について

定期試験は原則、授業と同一曜日・時限で実施されます。

なお、定期試験時間割は科目開放校から所属校へ通知されますので、所属校へ確認するようにしてください。定期試験は所属校の試験を優先させ、開放科目と重複が生じた場合は所属校窓口に相談してください。追試験・再試験については、科目開放校の実施基準を適用します。試験終了後、「受講者事後アンケート」に必ず回答してください。

5. 成績通知について

成績通知は所属校より行われます。単位の認定については、科目開放校から通知された成績を所属校の規定に基づき、認定を行います。

成績評価に関する問い合わせについては、科目開放校に直接問い合わせせず、所属校の担当窓口へ行ってください。

以上

太線の中のみ、1科目につき1枚記入してください。

2024年度 大学コンソーシアムひょうご神戸 単位互換事業
履修申込書

2024 年 月 日提出

学生情報	学生所属	所属	学部		学科	学年	学籍番号
		大学	学部		学科		
	ふりがな				(西暦) 年 月 日	性別	男 ・ 女
	ローマ字						
	氏 名						
	住 所	〒 -				電話 番号	- -
						携帯 番号	- -
	E-mail	@					
留学生等	日本国籍以外の方は国・地域ご記載ください				国・地域		

申込科目	科目開放	大学	開講時期		写真貼付欄 (画像データ) (4×3cm) 3ヶ月以内に 撮影したもの
	科 目 名				
	授業時間	曜日 時限	担当教員名		
	志望理由				

遠隔授業履修環境	使用端末	パソコン タブレット スマートホン その他()		
	契約Wi-Fi環境	通信速度: bps 月間データ利用上限:		

学生所属校	科目開放校
確認印	確認印
送り出し可否	履修可否
可 ・ 否	可 ・ 否

顔写真が鮮明に写った
学生証の画像データを添付してください。

備考	
----	--

記入された個人情報は、単位互換事業に関わる業務のみに使用し、第三者には一切開示いたしません。

2024年度 大学コンソーシアムひょうご神戸 単位互換事業履修者学生一覧表

科目開放校	
学生所属校	

[illegible]

年 月 日

〇〇大学

●●学部長 殿

〇〇大学●●学部長

〇〇 〇〇

(公印省略)

大学コンソーシアムひょうご神戸加盟大学間単位互換事業
開放科目履修辞退について（ご依頼）

標記の件につきまして、下記学生から令和〇年〇月〇日に履修許可をいただきました下記開放科目について、履修辞退の申し出がありました。大変申し訳ございませんが、履修辞退の手続きの程どうぞよろしくお願いいたします。

記

所 属：

学生氏名：

学籍番号：

科 目 名：

辞退理由：

以上

【担 当】

大学名・部署名

担当者氏名

連絡先（住所、電話番号、メールアドレス）

年 月 日

〇〇大学

●●学部長 殿

〇〇大学●●学部長

〇〇 〇〇

(公印省略)

大学コンソーシアムひょうご神戸加盟大学間単位互換事業 開放科目履修辞退について（回答）

標記の件につきまして、令和〇年〇月〇日付け文書にてご依頼のありました下記学生の履修辞退を認めます。

記

所 属：

学生氏名：

学籍番号：

科 目 名：

以上

【担 当】

大学名・部署名

担当者氏名

連絡先（住所、電話番号、メールアドレス）

2023 年 11 月 29 日

一般社団法人大学コンソーシアムひょうご神戸

単位互換事業 事務ご担当各位

大学コンソーシアムひょうご神戸事務局

2024 年度の単位互換事業の開放科目選定のご依頼

平素より、教育連携委員会が実施する単位互換事業にご協力いただき、誠にありがとうございます。つきましては科目一覧表にご記入頂き、2024 年 1 月 31 日（水）までにコンソ事務局（沓脱宛）まで、メール（info@consortium-hyogo.jp）にてご提出くださいますよう、宜しくお願い申し上げます。

2023 年度は、17 校 82 科目の開放があり、学生募集を 1~3 次の期間で行った結果、5 校 12 科目において受講希望がありました。また学生の履修申し込みは 6 校 17 名があり、そのうち 6 校 16 名の学生が履修可となりました。

新型コロナウイルス感染症の影響も落ち着き、従来の対面授業中心の授業形態に戻っていますが、今後とも可能な限り単位互換事業が継続実施できるようご検討をいただければと思います。

《直近 4 年度の開放科目数と履修者数の推移》

年度	開放科目数	履修者数	備考
2020	15 校 41 科目	3 校 8 名	新型コロナウイルス拡大防止のため、前期科目開放は中止。後期 1 科目実施。協定書の見直し
2021	11 校 43 科目	8 校 29 名	コロナ禍での単位互換、29 人中 20 人が非対面（オンライン 17 人, オンデマンド 3 人）
2022	15 校 85 科目	8 校 42 名	（対面 31 人, オンデマンド 11 人）
2023	17 校 82 科目	6 校 16 名	対面 10 人、オンデマンド 3 名、オンライン 2 名、ブレンド 1 名

また、科目一覧表の様式は、下記要領にてご作成下さい。

(1) 開放科目の選定にあたっては、集中開講（国内合宿型、集中型実技・実習等特別プログラム）、兵庫県内の地域特性や各校の特色のある通常開講科目といった、より多くの学生が興味を持ち、履修しやすい科目を中心に検討いただきますよう、お願いします。

(2) 開放科目は、各大学で取りまとめの上、ご提出をお願いします。

なお、対面以外の授業形態については、以下定義に基づき記載するよう、お願いします。

【多様なメディアを高度に利用した授業形態の定義】

オンライン型：開放科目校の時間割に従ってライブ配信される授業

オンデマンド型：事前に授業教材が配信され、履修者が任意の時間帯に教材を見ながら学ぶ授業

ブレンド型：対面とオンライン（又はオンデマンド）を組み合わせる授業

ハイフレックス型：対面又はオンラインいずれかでの受講を学生が選べる授業

分散型：同じ回に異なる内容の授業を対面とオンラインで行い、履修者が分散して受講する授業

(3) 学生へ開放科目を案内する際、分野ごとにまとめて広報させていただきます。科目分野欄を設定しておりますので、選択肢よりお選び下さい。なお、いずれにも該当しない場合には「その他」を選択の上、備考欄に分野案を記載してください。

(4) 各大学によって履修登録期間や授業開始時期が異なることから、学生に情報提供できる時期も様々です。より多くの学生に案内できるよう履修登録期間には受入できる最大の期間をご記入ください。

(例) A 校の学生が B 校の開放科目を受講したい場合

A 校履修登録期間：3/25～4/4

B 校履修登録期間：3/25～4/1

→A 校の履修登録期間終了日には B 校の登録期間が終了してしまっており、登録ができない。しかし B 校では履修登録期間締切後も学内業務上は 4 月 4 日まで対応いただける場合、B 校で記入して頂くのは「3/25～4/4」となります。

・必ずしも大学一律ではなく、科目ごとに異なる期間設定をして頂くことも可能です。登録期間を最大限に設定して頂くことにより、余裕をもって学生へ案内を行うことができます。

・夏期休業以降開講の受け入れ可能な科目については GW 明けに二次募集、後期開講科目のみ後期開始前に三次募集を行います。

以上、よろしくお願い申し上げます。

【添付資料】

【資料 2-1】 2024 年度単位互換事業マニュアル（教職員用）

【資料 2-2】【記入用】 2024 年度単位互換事業科目一覧表

【資料 2-3】【学校名】 2024 シラバス様式

【資料 2-4】 2024 年度単位互換事業マニュアル（学生用）

【資料 2-5】【学校名】 2024 年度履修申込書

【資料 2-6】【学校名】 2024 年度履修学生一覧表

【資料 2-7】【学校名】 単位互換事業 履修に関する辞退について（ご依頼）

【資料 2-8】【学校名】 単位互換事業 履修に関する辞退について（辞退承認）

【資料 3】 ★2024 年度の単位互換事業の開放科目選定のご依頼

【別紙 1】 2023 年度単位互換事業 履修申込状況

【別紙 2】 2023 年度科目一覧表

【提出期限】 2024 年 1 月 31 日（水）

【今後の予定】（参考）

・ 開放科目シラバス提出依頼：2024 年 2 月 12 日～3 月 1 日

※上記日程が厳しい場合は個別相談とさせていただきます

・ シラバス HP 掲載内容確認（1 回目）：2024 年 3 月 12 日～15 日

・ シラバス HP 掲載内容確認（予備）：2024 年 3 月 19 日～22 日

・ 一次募集開放科目周知：2024 年 3 月 25 日

【回答フォーム】

<https://ws.formzu.net/fgen/S92779277/>

【問合せ先】 大学コンソーシアムひょうご神戸 事務局（担当：沓脱、中水）

2023年度単位互換事業 履修申込状況

＜1次募集＞募集期間3/24-4/6												
募集 No	校数 No	科目 No	提供校	開放科目名	分類	単位数	授業形態	開講日程（予定）	送り出し校	申込者数 (人)	履修可校	履修可 (人)
1次	1	1	大手前大学	イメージと物語	文学	2	オンデマンド型	4月12日～7月28日	神戸学院大学(1)	1	神戸学院大学(1)	1
		2		サブカルチャー分析	社会学	2	オンデマンド型	4月12日～7月28日	兵庫県立大学(1)	1	-	0
		3		古文書学入門	史学	2	オンデマンド型	9月20日～1月29日	関西国際大学(1)、 神戸海星女子学院大学(1)	2	関西国際大学(1)、 神戸海星女子学院大学(1)	2
		4	甲南大学	労働経済Ⅰ(A)	経済学	2	全て対面	4月5日～7月24日 毎週水曜5限	神戸松蔭女子学院大学(1)	1	神戸松蔭女子学院大学(1)	1
		5		物理学	物理学	2	全て対面	9月25日～1月22日 毎週火曜1限	神戸松蔭女子学院大学(1)	1	神戸松蔭女子学院大学(1)	1
	3	6	神戸市外国語大学	英米文学・文化研究 入門	文学	2	ブレンド型	前期（4/11～8/1）	神戸学院大学(1)	1	神戸学院大学(1)	1
	4	7		自然環境と心理	心理学	2	全て対面	8月下旬頃	神戸松蔭女子学院大学(1)、 姫路大学(1)、兵庫県立大学(1)	3	神戸松蔭女子学院大学(1)、 姫路大学(1)、兵庫県立大学(1)	3
	5	8	神戸大学	データサイエンス基 礎学	情報学	1	オンライン型	12/6～2/7 毎週水曜5限（17時～ 18時半）※1/3、1/17除く	神戸松蔭女子学院大学(1)	1	神戸松蔭女子学院大学(1)	1
計	5	8						計	11	計	10	
＜2次募集＞募集期間6/1-7/7												
募集 No	校数 No	科目 No	提供校	開放科目名	分類	単位数	授業形態	開講日程（予定）	送り出し校	申込者数 (人)	履修可校	履修可 (人)
2次	1	1	神戸大学	データサイエンス基 礎学	情報学	1	オンライン型	12/6～2/7 毎週水曜5限（17時～ 18時半）※1/3、1/17除く	神戸学院大学(1)	1	神戸学院大学(1)	1
		2		農場と食卓をつなぐ フィールド演習	農学	1	全て対面	8/30～9/1	神戸学院大学(2)、兵庫県立大学(1)	3	神戸学院大学(2)、兵庫県立大学(1)	3
		3		臨海実習Ⅰ	海洋	1	全て対面	令和6年3月（3泊4日）	神戸学院大学(1)	1	神戸学院大学(1)	1
計	1	3						計	5	計	5	
＜3次募集＞募集期間8/24-9/12												
3次	1	1	甲南大学	物理化学基礎	化学	2	全て対面	9月25日～1月22日 毎週水曜1限	兵庫県立大学(1)	1	兵庫県立大学(1)	1
計	1	1						計	1	計	1	

2023年度は、17校82科目の開放があり、学生募集を1～3次の期間で行った結果、5校12科目において受講希望がありました。

また学生の履修申し込みは6校17名があり、そのうち5校16名の学生が履修可となりました。（以下詳細）

- 2023年度科目開放校と科目開放数について（計17校82科目）
（1次募集）科目開放校：17校、科目開放数82科目、（2次募集）科目開放校：5校、科目開放数13科目、（3次募集）科目開放校：5校、科目開放数18科目
- 2023年度履修者について

1次募集	科目	申込者	学生内訳
履修申込	5校8科目	6校11名	関西国際大学(1)・神戸海星女子学院大学(2)・神戸学院大学(2)・神戸松蔭女子学院大学(3)・姫路大学(1)・兵庫県立大学(2)
履修可	4校7科目（※）	6校10名	関西国際大学(1)・神戸海星女子学院大学(2)・神戸学院大学(2)・神戸松蔭女子学院大学(3)・姫路大学(1)・兵庫県立大学(1)
履修不可	1校1科目	1校1名	募集期間終了後の応募により(1)
2次募集	科目	申込者	学生内訳
履修申込	1校3科目	2校5名	神戸学院大学(4)・兵庫県立大学(1)
履修可	1校3科目	2校5名	神戸学院大学(4)・兵庫県立大学(1)
履修不可	なし	なし	-
3次募集	科目	申込者	学生内訳
履修申込	1校1科目	1校1名	兵庫県立大学(1)
履修可	1校1科目	1校1名	兵庫県立大学(1)
履修不可	なし	なし	-

※履修可となった授業形態は、対面10人、オンデマンド3名、オンライン2名、ブレンド1名（計16名）である。

《2023年度単位互換事業 科目一覧表》

No	二次募集		大学名	開講科目名	分野	担当	単位数	開講キャンパス	開講方法			開講人数	開講日曜(予定)	履修登録期間	履修可否結果の通知日	成績発表の時期	備考
	開放	開放							授業形態	履修上の留意事項	ブレンド型のみ記載 授業方法						
1			大手前大学	企業会計入門	経済学	坂元 美絵	2	さくら原川キャンパス	オンデマンド型	オンライン教材を見るための通信環境とPCは履修者が準備	通常	3名以内	4月12日～7月28日	3月24日～4月1日	4月7日	9月4日	特別補講および期末試験：7月31日から8月2日
2			大手前大学	イメー징と物語	文学	大島 浩英	2	さくら原川キャンパス	オンデマンド型	オンライン教材を見るための通信環境とPCは履修者が準備	通常	3名以内	4月12日～7月28日	3月24日～4月1日	4月7日	9月4日	特別補講および期末試験：7月31日から8月2日
3			大手前大学	サブカルチャー分析	社会学	谷村 要	2	さくら原川キャンパス	オンデマンド型	オンライン教材を見るための通信環境とPCは履修者が準備	通常	3名以内	4月12日～7月28日	3月24日～4月1日	4月7日	9月4日	特別補講および期末試験：7月31日から8月2日
4			大手前大学	観光学	社会学	海老 泉平	2	さくら原川キャンパス	全て対面	対面授業においても通信環境とPCが必要	通常	3名以内	4月12日～7月28日	3月24日～4月1日	4月7日	9月4日	特別補講および期末試験：7月31日から8月2日
5			大手前大学	情報メディアと社会1	社会学	谷村 要	2	さくら原川キャンパス	全て対面	対面授業においても通信環境とPCが必要	通常	3名以内	4月12日～7月28日	3月24日～4月1日	4月7日	9月4日	特別補講および期末試験：7月31日から8月2日
6	1		大手前大学	古文書学入門	史学	尾崎 耕司	2	さくら原川キャンパス	オンデマンド型	オンライン教材を見るための通信環境とPCは履修者が準備	通常	3名以内	9月20日～1月29日	9月4日～6日	9月13日	2月28日	特別補講および期末試験：1月30日から2月1日
7			大手前大学	考古学の扉	史学	森下 章司	2	さくら原川キャンパス	全て対面	対面授業においても通信環境とPCが必要	通常	3名以内	9月20日～1月29日	9月4日～6日	9月13日	2月28日	特別補講および期末試験：1月30日から2月1日
8			大手前大学	日本近代の都市	史学	尾崎 耕司	2	さくら原川キャンパス	全て対面	対面授業においても通信環境とPCが必要	通常	3名以内	9月20日～1月29日	9月4日～6日	9月13日	2月28日	特別補講および期末試験：1月30日から2月1日
9			大手前大学	観光の見えるべ	社会学	海老 泉平	2	さくら原川キャンパス	全て対面	対面授業においても通信環境とPCが必要	通常	3名以内	9月20日～1月29日	9月4日～6日	9月13日	2月28日	特別補講および期末試験：1月30日から2月1日
10			大手前大学	英語の音	語学	石野 尚	2	さくら原川キャンパス	全て対面	対面授業においても通信環境とPCが必要	通常	3名以内	9月20日～1月29日	9月4日～6日	9月13日	2月28日	特別補講および期末試験：1月30日から2月1日
11	0	0	大手前大学	国際日本特別講義Ⅰ(音楽からみる国際文化)	社会学	坂本 真司	2	さくら原川キャンパス	フレンド型	オンライン教材を見るための通信環境とPCは履修者が準備	集中	3名以内	10月～12月の土曜日(15回)	9月4日～6日	9月13日	2月28日	特別補講および期末試験：第一回授業で案内
12			大手前短期大学	IT概論A	情報学	佐々木 英洋	2	さくら原川キャンパス	全て対面	対面授業においても通信環境とPCが必要	通常	3名以内	4月12日～7月28日	3月24日～4月1日	4月7日	9月4日	特別補講および期末試験：7月31日から8月9日
13			大手前短期大学	アパレル商品の知識	生活科学	島崎 千仁子	2	さくら原川キャンパス	全て対面	対面授業においても通信環境とPCが必要	通常	3名以内	4月12日～7月28日	3月24日～4月1日	4月7日	9月4日	特別補講および期末試験：7月31日から8月9日
14			大手前短期大学	民法概説	法学	後藤 英一郎	2	さくら原川キャンパス	全て対面	対面授業においても通信環境とPCが必要	通常	3名以内	4月12日～7月28日	3月24日～4月1日	4月7日	9月4日	特別補講および期末試験：7月31日から8月9日
15			大手前短期大学	医療事務基礎Ⅰ	健康・スポーツ科学	小林 千里	2	さくら原川キャンパス	全て対面	対面授業においても通信環境とPCが必要	通常	3名以内	4月12日～7月28日	3月24日～4月1日	4月7日	9月4日	特別補講および期末試験：7月31日から8月9日
16	2		大手前短期大学	ビジネス実務演習	経済学	山岸 黒子	2	さくら原川キャンパス	全て対面	対面授業においても通信環境とPCが必要	通常	3名以内	4月12日～7月28日	3月24日～4月1日	4月7日	9月4日	特別補講および期末試験：7月31日から8月9日
17			大手前短期大学	インテリアエレメント	建築学	藤本 幹也	2	さくら原川キャンパス	全て対面	対面授業においても通信環境とPCが必要	通常	3名以内	9月20日～1月29日	9月4日～6日	9月13日	2月28日	特別補講および期末試験：1月30日から2月9日
18			大手前短期大学	IT概論B	情報学	佐々木 英洋	2	さくら原川キャンパス	全て対面	対面授業においても通信環境とPCが必要	通常	3名以内	9月20日～1月29日	9月4日～6日	9月13日	2月28日	特別補講および期末試験：1月30日から2月9日
19			大手前短期大学	マーケティング基礎	経済学	堀井 就	2	さくら原川キャンパス	全て対面	対面授業においても通信環境とPCが必要	通常	3名以内	9月20日～1月29日	9月4日～6日	9月13日	2月28日	特別補講および期末試験：1月30日から2月9日
20			大手前短期大学	建築の歴史	建築学	藤本 幹也	2	さくら原川キャンパス	全て対面	対面授業においても通信環境とPCが必要	通常	3名以内	9月20日～1月29日	9月4日～6日	9月13日	2月28日	特別補講および期末試験：1月30日から2月9日
21			大手前短期大学	家族の法律	法学	声田 秀昭	2	さくら原川キャンパス	全て対面	対面授業においても通信環境とPCが必要	通常	3名以内	9月20日～1月29日	9月4日～6日	9月13日	2月28日	特別補講および期末試験：1月30日から2月9日
22	0	0	関西国際大学	文化人類学	文化人類学	清水祐野	2	神戸山手	全て対面	英語での授業に対応できること	通常	5名程度	10月～1月	3月28日(火)～4月21日(金)	4月下旬	2月下旬	
23	0	0	関西国際大学	日本文化論(日本文化)	芸術学	上村和義	2	尼崎	全て対面		通常	5名程度	10月～1月	3月28日(火)～4月21日(金)	4月下旬	2月下旬	
24	0	0	関西国際大学	災害と安全管理(危機管理)	防災	道免逸子	2	神戸山手	全て対面		通常	5名程度	10月～1月	3月28日(火)～4月21日(金)	4月下旬	2月下旬	
25	0	0	関西国際大学	日本事情(日本社会)	史学	伊藤創	2	神戸山手	全て対面		通常	5名程度	10月～1月	3月28日(火)～4月21日(金)	4月下旬	2月下旬	
26			関西学院大学	A活用入門 1	機械工学	(代)已波 弘佳	2	—	オンデマンド型	ログイン時に顔認証を行うため、カメラ機能付きのPCが必要	通常	10名以内	4月10日(月)～7月25日(火)の期間(予定)	3月28日(火)～4月3日(月)3日以内	8月10日		
27	0		関西学院大学	A活用入門 2	機械工学	(代)已波 弘佳	2	—	オンデマンド型	ログイン時に顔認証を行うため、カメラ機能付きのPCが必要	通常	10名以内	8月20日(火)～7月19日(金)の期間(予定)	9月6日(水)～9月12日(火)3日以内	2月10日		
28			関西学院大学	希附講座207【手話・聴覚障害者の世界】	社会学	(代)松岡 克尚	2	西宮上ヶ原キャンパス	全て対面		通常	10名以内	4月11日(火)～7月18日(火)毎週火曜17:00～18:40	3月28日(火)～4月3日(月)3日以内	8月10日		7/18は補講・試験日のため、休講が発生した場合、7/18に補講を行うことがある。
29	5		豊和短期大学	子ども家庭支援の心理学	心理学	小山 順	2	豊和学院 関西学院 西宮東野キャンパス	全て対面		通常	若干名	2023年9月20日(水)～2024年2月7日(水)の期間内	履修申込書受付から平日3営業日以内	2024年2月27日(火)		

No	二次募集		大学名	開校科目名	分野	担当者	単位数	開校キャンパス	開校方法			開校形態	受入れ人数	開校日程(予定)	履修登録期間	履修可否結果の通知日	成績発表の時期	備考
	開放	三次募集							履修形態	履修上の留意事項	フレンド型のみ記載 授業方法							
30			甲南大学	環境生物学	生物学	本多 大 輔	2	岡本	全て対面		通常	若干名	4月5日～7月24日 毎週水曜1限	4月1日～4月6日	履修申込期限の 3週間後を予定	9月上旬	分野: 生物学	
31			甲南大学	入門マナジメント	キャリア	西川 耕 平	2	岡本	全て対面		通常	若干名	4月5日～7月24日 毎週月曜1限	4月1日～4月6日	履修申込期限の 3週間後を予定	9月上旬	分野: キャリア	
32			甲南大学	統計入門①～③	経済学	小山 直 樹	2	岡本	全て対面	①～③いずれかのクラス、 1クラスは10名以内	通常	若干名	4月5日～7月24日 毎週火曜1限	4月1日～4月6日	履修申込期限の 3週間後を予定	9月上旬		
33			甲南大学	労働経済1(A)	経済学	上 島 康 弘	2	岡本	全て対面		通常	若干名	4月5日～7月24日 毎週水曜1限	4月1日～4月6日	履修申込期限の 3週間後を予定	9月上旬		
34		○	甲南大学	英語学講座Ⅱ	語学	榎 島 彰 利	2	岡本	全て対面		通常	若干名	9月25日～1月22日 毎週火曜2限	9月14日～9月21日	履修申込期限の 3週間後を予定	3月上旬	12月24日～1月3日 冬期休業	
35		○	甲南大学	国際関係論	国際	小 西 幸 男	2	岡本	全て対面		通常	若干名	9月25日～1月22日 毎週月曜1限	9月14日～9月21日	履修申込期限の 3週間後を予定	3月上旬	12月24日～1月3日 冬期休業	
36		○	甲南大学	物理学	物理学	梅 津 裕 朗	2	岡本	全て対面		通常	若干名	9月25日～1月22日 毎週火曜1限	9月14日～9月21日	履修申込期限の 3週間後を予定	3月上旬	12月24日～1月3日 冬期休業	
6																		
37		○	甲南大学	世界のなかの日本Ⅱ	国際	小 西 幸 男	2	岡本	全て対面		通常	若干名	9月25日～1月22日 毎週月曜4限	9月14日～9月21日	履修申込期限の 3週間後を予定	3月上旬	12月24日～1月3日 冬期休業	
38		○	甲南大学	物理化学基礎	化学	山 本 雅 博	2	岡本	全て対面		通常	若干名	9月25日～1月22日 毎週水曜1限	9月14日～9月21日	履修申込期限の 3週間後を予定	3月上旬	12月24日～1月3日 冬期休業	
39		○	甲南大学	情報英語	語学	田 中 雅 博	2	岡本	全て対面		通常	若干名	9月25日～1月22日 毎週水曜3限	9月14日～9月21日	履修申込期限の 3週間後を予定	3月上旬	12月24日～1月3日 冬期休業	
40			甲南大学	経営実務b	その他	北 屋 明	2	岡本	全て対面		通常	若干名	9月25日～1月22日 毎週水曜3限	9月14日～9月21日	履修申込期限の 3週間後を予定	3月上旬	12月24日～1月3日 冬期休業	
41		○	甲南大学	政治学入門C	政治学	池 田 佳 隆	2	岡本	全て対面		通常	若干名	9月25日～1月22日 毎週水曜4限	9月14日～9月21日	履修申込期限の 3週間後を予定	3月上旬	12月24日～1月3日 冬期休業	
42		○	甲南大学	経済学の歴史	経済学	岡 田 元 浩	4	岡本	全て対面		通常	若干名	9月25日～1月22日 毎週月曜3・4限	9月14日～9月21日	履修申込期限の 3週間後を予定	3月上旬	12月24日～1月3日 冬期休業	
43		○	甲南大学	実践マナジメント	キャリア	西 川 耕 平	2	岡本	全て対面		通常	若干名	9月25日～1月22日 毎週月曜4限	9月14日～9月21日	履修申込期限の 3週間後を予定	3月上旬	12月24日～1月3日 冬期休業	
44	○	○	神戸大学	データサイエンス基礎学	情報学	首 藤 悠 通	1	オンライン	オンライン型	オンライン教材を見るための 1～9回、10回は履修登録 9回、10回については未 定(対面の可能性もあり)	通常	50人程度	12/6～2/7 毎週水曜5限(17時～ 18時半) ※1/3, 1/7除く	三次募集期間まで	申込書受理から1週間以内	3月中旬		
45	○	○	神戸大学	臨海実習Ⅰ	海洋	上井 進也 大沼 寛 星野 雅和	1	内海地域連携教育 研究センター・マ リナサイト	全て対面	履修学生は「学生教育研 究」や「臨海実習」の保 険に必ず加入しておくこと。 ハンコンを持参すること。	集中	3名	令和6年3月(3泊4日)	令和5年12月15日まで	申込書受理から1週間以内	3月下旬	マリナサイトに宿泊して実施する。経費: 宿 泊料および食費として約10,000円 ※学生保険等必須 ※新型コロナウイルス感染状況により、中 止になる可能性あり。	
7																		
46	○	○	神戸大学	臨海実習Ⅱ	海洋	上井 進也 大沼 寛 星野 雅和	1	内海地域連携教育 研究センター・マ リナサイト	全て対面	履修学生は「学生教育研 究」や「臨海実習」の保 険に必ず加入しておくこと。 ハンコンを持参すること。	集中	3名	令和5年3月(3泊4日)	令和6年6月30日まで	申込書受理から1週間以内	10月上旬	マリナサイトに宿泊して実施する。経費: 宿 泊料および食費として約10,000円 ※学生保険等必須 ※新型コロナウイルス感染状況により、中 止になる可能性あり。	
47	○	○	神戸大学	農場と食卓をつなぐ フィールド演習	農学	大 山 憲 二 他	1	農学研究科附属 食資源教育研究 センター	全て対面	学生保険等必須	集中	15名程度	8/30～9/1	二次募集期間まで	申込書受理から1週間以内	9月中旬	学生保険等必須	
48			神戸海星女子学院大学	神戸学	地域研究	星 野 聡 子	2	本学	全て対面		通常	5名程度 (女性の み)	2023年9月25日(月)～2024年1月29 日(月)(詳細は別途連絡)	4/5～4/14 9/25～10/2	履修申込書受理から7日後	3月6日	履修登録期間については相談可。 COVID-19感染状況によりオンライン対応とな る可能性あり。	

No	二次募集		大学名	開講科目名	分野	担当者	単位数	開講キャンパス	開講方法			開講形態	受入れ人数	開講日曜(予定)	履修登録期間	履修可否結果の通知日	成績発表の時期	備考
	開放	三次募集							授業形態	履修上の留意事項	フレンド型のみ記載 授業方法							
49			神戸学院大学	経営戦略論Ⅰ	社会	田中 康介	2	ポートアイランド キャンパス	全て対面			通常	50名	4/11～7/18 毎週火曜 日4時限 15:30～17:00	4/1～4/11	4/14(金) 予定	9/5(火) 予定	
50			神戸学院大学	経営戦略論Ⅱ	社会	田中 康介	2	ポートアイランド キャンパス	全て対面			通常	50名	9/19～1/16 毎週火曜 日4時限 15:30～17:00	9/1～9/13	9/15(金) 予定	2/22(木) 予定	(注)11/2～11/5大学祭、12/24～1/5冬期休業、1/9創立記念振替休業日のため、授業なし。
51			神戸学院大学	地域学入門A (神戸から見た日本史)	史学	鶴飼 昌男	2	ポートアイランド キャンパス	フレンド型	シラバスで要確認	原則1. 女性授業ですが、教員の出張時に授業計画を配慮。	通常	10名程度	4/11～7/18 毎週火曜 1時限 9:30～11:00	4/1～4/11	4/14(金) 予定	9/5(火) 予定	
52			神戸学院大学	上級中国語ⅠC	語学	池田 裕之文	1	ポートアイランド キャンパス	全て対面	中国語検定試験4級相当以上の中国語力を有する		通常	制限無し	4/10～7/17 毎週月曜3時限 13:45～15:15	4/1～4/11	4/14(金) 予定	9/5(火) 予定	
53			神戸学院大学	上級中国語ⅠC	語学	池田 裕之文	1	有瀬キャンパス	全て対面	中国語検定試験4級相当以上の中国語力を有する		通常	制限無し	4/12～7/22 毎週水曜2時限 11:15～12:45	4/1～4/11	4/14(金) 予定	9/5(火) 予定	7/22(土)に水曜科目授業日あり
54			神戸学院大学	上級中国語ⅡC	語学	池田 裕之文	1	ポートアイランド キャンパス	全て対面	中国語検定試験4級相当以上の中国語力を有する		通常	制限無し	9/25～1/15 毎週月曜3時限 13:45～15:15	9/1～9/13	9/15(金) 予定	2/22(木) 予定	11/2～11/5大学祭、12/24～1/5冬期休業、1/9創立記念振替休業日のため授業なし。
55			神戸学院大学	上級中国語ⅡC	語学	池田 裕之文	1	有瀬キャンパス	全て対面	中国語検定試験4級相当以上の中国語力を有する		通常	制限無し	9/20～1/17 毎週水曜2時限 11:15～12:45	9/1～9/13	9/15(金) 予定	2/22(木) 予定	11/2～11/5大学祭、12/24～1/5冬期休業、1/9創立記念振替休業日のため授業なし。
56			神戸学院大学	数的思考ⅡB (批判推理)	数学	中村 光宏	2	ポートアイランド キャンパス	全て対面	シラバスで要確認		通常	10名程度	4/12～7/22 毎週水曜2時限 11:15～12:45	4/1～4/11	4/14(金) 予定	9/5(火) 予定	7/22(土)に水曜科目授業日あり。
57			神戸学院大学	数的思考ⅡA (数的推理)	数学	中村 光宏	2	ポートアイランド キャンパス	全て対面	シラバスで要確認		通常	10名程度	9/20～1/17 毎週水曜2時限 11:15～12:45	9/1～9/13	9/15(金) 予定	2/22(木) 予定	11/2～11/5大学祭、12/24～1/5冬期休業、1/9創立記念振替休業日のため授業なし。
58			神戸学院大学	健康・スポーツ 科学Ⅱ	健康・スポーツ 科学	高梨 薫	2	ポートアイランド キャンパス	全て対面	シラバスで要確認		通常	10名程度	4/10～7/17 毎週月曜1時限 9:30～11:00	4/1～4/11	4/14(金) 予定	9/5(火) 予定	
59			神戸学院大学	現代の障がい問題	健康・スポーツ 科学	高梨 薫	2	ポートアイランド キャンパス	全て対面	シラバスで要確認		通常	10名程度	9/22～1/19 毎週金曜2時限 11:15～12:45	9/1～9/13	9/15(金) 予定	2/22(木) 予定	11/2～11/5大学祭、12/24～1/5冬期休業、1/9創立記念振替休業日のため授業なし。
60			神戸芸術工科大学	日本建築の歴史	建築学	山之内 誠 教授	2	本学	全て対面			通常	5名程度	4/14～8/4 毎週金曜2時限	4/1～4/17	4/18頃	9/1頃	
61	○		神戸芸術工科大学	ランドスケープデザイン の歴史	建築学	長濱 伸貴 教授	2	本学	全て対面			通常	5名程度	9/19～1/23 毎週火曜3時限	9/11～9/23	9/25頃	2/28頃	
62			神戸芸術工科大学	ビジュアルデザイン Ⅱ	芸術学	専門 香之 教授 秋山 伸 教授 廣中 真 准教授 久木 直子 准教授	2	本学	全て対面			通常	5名程度	9/21～1/25 毎週木曜2時限	9/11～9/23	9/25頃	2/28頃	
63			神戸芸術工科大学	アニメーション作品 理論	芸術学	原口 正広 講師	2	本学	全て対面			通常	5名程度	4/11～8/1 毎週火曜5～6時限	4/1～4/17	4/18頃	9/1頃	
64	○		神戸芸術工科大学	まんがメディア文化 史	芸術学	川中 希満 教授	2	本学	全て対面			通常	5名程度	9/21～1/25 毎週木曜2時限	9/11～9/23	9/25頃	2/28頃	
65			神戸芸術工科大学	ファンクションデザイン 概論	芸術学	長崎 徹 教授 藤原 敬 教授 藤原 孝 准教授 藤原 及 准子 准教授 藤原 友子 准教授	2	本学	全て対面			通常	5名程度	4/12～8/2 毎週水曜2時限	4/1～4/17	4/18頃	9/1頃	
66			神戸芸術工科大学	アート・クラフト概論	芸術学	戸式 浩 教授 戸式 浩 准教授 山口 文雄 准教授 山口 文雄 准教授 中山 尚 准教授 中山 尚 准教授 三島 一雄 准教授	2	本学	全て対面			通常	5名程度	4/14～8/4 毎週金曜3時限	4/1～4/17	4/18頃	9/1頃	
67	○		神戸芸術工科大学	科学と技術	その他	大内 克哉 教授	2	本学	全て対面			通常	5名程度	9/22～1/26 毎週金曜4時限	9/11～9/23	9/25頃	2/28頃	

No	二次募集		大学名	開校科目名	分野	担当者	単位数	開校キャンパス	開校方法				開校形態	受入れ人数	開校日程(予定)	履修登録期間	履修可否結果の通知日	成績発表の時期	備考
	開放	三次募集							授業形態	履修上の留意事項	フレンド型のみ記載 授業方法								
68		開放	神戸市外国語大学	英米文学・文化研究入門	文学	文西 寿明准教授 (リレー講座)	2	本学	フレンド型	通信環境とPCは履修要項目 意	14回:対面 1回:オンラインの予定	通常	10名	前期(4/11～8/1)	2023/4/10～2023/4/14	履修可否受領から3日後	9月下旬		
69			神戸市外国語大学	スポーツ文化講演習 【第21】	健康・スポーツ科学	常行 桑子准教授	2	本学	全て対面	学内外でのフィールドワークや調査等(参加必須)を実施するので、土日祝に集中授業を行う場合があります。各自で日程調整していただく必要があります。		通常	5名	前期(4/14～7/28)	2023/4/10～2023/4/14	履修可否受領から3日後	9月下旬		
70	○		神戸市外国語大学	スポーツ文化講演習 【第22】	健康・スポーツ科学	常行 桑子准教授	2	本学	全て対面	学内外のプログラム(参加必須)を実施するので、土日祝に集中授業を行う場合があります。各自で日程調整していただく必要があります。		通常	5名	後期(9/15～1/28)	2023/9/15～9/21	履修可否受領から3日後	3月初旬		
71			神戸市外国語大学	横濱通訳演習 (JUEMIN)	国際	Michael Holtenback 准教授 Lori Zenke-Nishide 教授 Yumi Matsumoto講師	2	本学	全て対面	・別途費用が5000円かかります。 ・家庭用レベル: TOEIC 750以上、IELTS 5.5以上、TOEFL 76以上、英検2級以上 ・選考あり		通常	20名(ただし希望者が多い場合は定員を超過する場合があります。不開講)	4/15 (Sat), 4/22 (Sat), 5/13 (Sat), 5/27 (Sat), 6/10 (Sat), 6/24 (Sat), 7/7 (Fri), 7/8 (Sat), 7/9 (Sun), 7/15 (Sat)	～2023/4/7	4/10	9月下旬	※基本両面ですが、場合によってはオンラインになる場合がある ※分野・国際	
72			神戸松蔭女子学院大学	神学論	地域研究	江 弘毅	2	本学	全て対面	毎回、PCを持参してください		通常	5	4月8日～9月5日	3/24～4/6	4月中旬	9月上旬	前期 月曜2限 女性のみ	
73			神戸松蔭女子学院大学	阪神デザイン論	地域研究	徳山 孝子	2	本学	フレンド型	オンライン授業時の通信環境とPC等機器は履修者が準備をする要	第1回(原則)第15回分面談は上記以外はオンライン授業	通常	5	4月8日～9月5日	3/24～4/6	4月中旬	9月上旬	前期 水曜2限 女性のみ	
74			神戸女子短期大学	衣生活の知識	生活科学	石田 真典子 佐藤 弘子	1	Pキャンパス	全て対面	オンライン教材を見ながらの通訳履修には履修者が用意		通常	8名程度	9/21(水)～12/20(水)の毎週水曜日	9/1～9/5	9/22まで(予定)	2/14(水)予定	女性のみ	
75			神戸女子短期大学	食品科学	生活科学	中村 智恵子 栗田 朋子 岩崎 真実	2	Pキャンパス	全て対面	オンライン教材を見ながらの通訳履修とPCは履修者が用意		通常	8名程度	9/21(金)～1/10(金)の毎週水曜日(11/3、11/10を除く)	9/1～9/5	9/22まで(予定)	2/14(水)予定	女性のみ	
76			神戸常盤大学	国際保健医療活動Ⅱ	国際	坂本 秀生	1	本学およびアメリカ	全て対面	別紙募集要項を参照のこと。		集中	若干名	2023年9月8日(金)～9月18日(月) (予定)	5月11日(木)まで	5月19日(金)	10月下旬予定		
77			神戸親和大学	自然環境と心理	心理学	木下 藤寿	2	新開台キャンパス他	全て対面	3日間集中講義のうち、2日目は「材料物価」での授業を行う。		集中	若干名	9月下旬頃	3月24日(金)～4月14日(金)	4月上旬	9月上旬		
78			宝塚医療大学	哲学	文学	廣田	2	本学	全て対面			通常	10	4月6日～9月7日	3月30日～4月11日	履修申込書受領から概ね1週間	8月10日		
79			宝塚医療大学	文化人類学	文化人類学	足立	2	本学	全て対面			通常	10	9月22日～R6年2月2日	3月30日～4月11日	履修申込書受領から概ね1週間	R6年2月6日		
80			宝塚医療大学	物理学	物理学	阿部	2	本学	全て対面			通常	10	9月22日～R6年2月2日	3月30日～4月11日	履修申込書受領から概ね1週間	R6年2月6日		
81			兵庫県立大学	災害リスクマネジメント	防災	松谷 昇平	2	神戸防災キャンパス	全て対面			通常	5～10名程度	4/8～6/3 土曜1・2限	4/3～4/12	履修申込書受領から3日後	9月上旬		
82			兵庫県立大学	減災復興政策概論	防災	青田 昌介	2	神戸防災キャンパス	全て対面			通常	5～10名程度	6/10～7/29 土曜1・2限	4/3～4/12	履修申込書受領から3日後	9月上旬		

大学コンソーシアムひょうご神戸 教育連携委員会 多様な学修機会の提供事業：コンソ加盟校 公開講座 実績一覧 2023年4月～10月

NO	担当校	日程	テーマ名	参加者数	内訳
1	大手前大学・大手前短期大学	2023年4月15日	公開講座 2023前期 人生100年時代の健康 4月講座テーマ：いくつになっても明るい笑顔 ～審美歯科の基礎と実際～	12	大手前大学4名、その他8名
2	大手前大学・大手前短期大学	2023年6月17日	人生100年時代の健康「行動変容と健康づくり」	23	大手前大学4名、その他19名
3	神戸学院大学	2023年5月13日	第85回 土曜公開講座「What's データサイエンス」	107	その他107名
4	神戸学院大学	2023年5月20日	第85回 土曜公開講座「ネットワークでお悩み解決—すごい〇〇マップ—」	95	その他95名
5	神戸学院大学	2023年5月27日	第85回 土曜公開講座「古くて新しいデータサイエンス」	81	その他81名
6	神戸学院大学	2023年6月24日	第85回 土曜公開講座「でたらめなのに法則が！？—目からウロコの確率統計—」	92	その他92名
7	神戸学院大学	2023年7月1日	第85回 土曜公開講座「協調フィリタリングによる推薦システム」	83	その他83名
8	甲南女子大学	2023年8月22日	2023年度エグゼクティブ講座「日本語表現力講座（基礎編）～ビジネスなどの場面で正しく伝えるために～」 第1回「敬語の正しい使い方」	9	甲南女子大学3名、その他6名
9	甲南女子大学	2023年8月22日	2023年度エグゼクティブ講座「日本語表現力講座（基礎編）～ビジネスなどの場面で正しく伝えるために～」 第2回「読み手に伝わる文章」	9	甲南女子大学3名、その他6名
10	甲南女子大学	2023年8月24日	2023年度エグゼクティブ講座「日本語表現力講座（基礎編）～ビジネスなどの場面で正しく伝えるために～」 第3回「目的に合わせたビジネスメール」	13	甲南女子大学3名、その他10名
11	甲南女子大学	2023年8月24日	2023年度エグゼクティブ講座「日本語表現力講座（基礎編）～ビジネスなどの場面で正しく伝えるために～」 第4回「聞き手の印象に残るプレゼンテーション」	7	甲南女子大学3名、その他4名
12	大手前大学・大手前短期大学	2023年9月8日	第1回 経営学のメガトレンド/従業員の健康増進と心理的WBを実現するマネジメントの実践的展開	73	大手前大学20名、その他53名
13	神戸学院大学	2023年9月30日	専門職連携教育(Interprofessional Education) 5周年記念シンポジウム これからの専門職連携教育を考える	158	神戸学院大学150名、神戸市看護大学2名、その他6名
14	大手前大学	2023年10月13日	第2回 経営学のメガトレンド/高級品のマーケティング～サントリーのワインビジネス～	55	大手前大学27名、その他28名
15	兵庫大学	2023年10月21日	失敗学シリーズ—事例と教訓その16	6	兵庫大学1名、その他5名
16	神戸松蔭女子学院大学	2023年10月28日	神戸タータン・神戸松蔭タータン ～ファッションで地域活性化～	65	神戸松蔭女子学院大学5名、その他60名
17	甲南女子大学	2023年10月28日	腸内フローラと健康寿命 健康寿命はお腹から	46	甲南女子大学17名、その他29名
				934	

大学コンソーシアムひょうご神戸の付加価値について ～コンソの認知・イメージアップ施策検討用「加盟校教職員へのアンケート調査」に向けて～

7月企画運営委員会

コンソの目指す姿 「Diversity, Equity & Inclusion」

～多様なメンバーが 学校を超えて フラットに学び合い 繋がる～

ビジョン 大学間連携・産官学連携で

「人が繋がりを、多様な学びを共創する“ひょうご神戸”」

戦略

- ①情報共有と発信 ②人的交流の促進
- ③ステークホルダーとの有機的連携

外部
環境

内部
環境

市場機会の特定

セグメンテーション
ターゲティング
ポジショニング

マーケティングミックス

プロダクト・プライス・プレイス・プロモーション

※実行・モニタリングでPDCA回す

2022年度
策定

2023年度
策定

中長期計画Ⅱ期（柱4）

「加盟校が活性化する大学間連携組織としての運営体制の構築」

【アンケート目的】

教職員・学生・地域社会のステークホルダー等に対するコンソの認知度向上、イメージのアップのため
の事業設計、広報活動等に生かすため

【アンケート活用】

- 現状把握することで今後の効果的な情報発信施策に活用
- 理想ターゲット層を増やす施策の立案

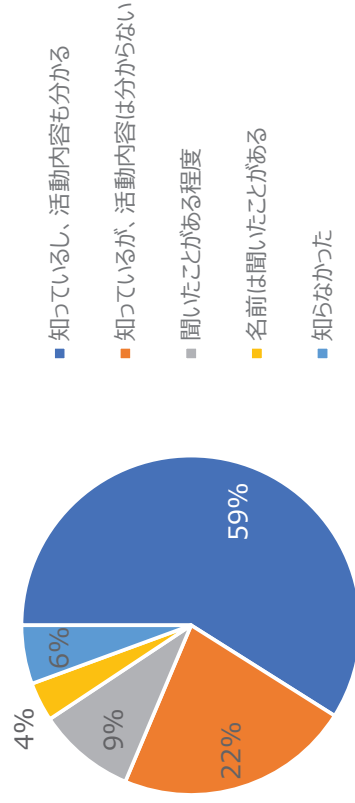
※ターゲットペルソナのカスタマイザー（別紙参照（お手隙時にお目通し下さい））



【成果】※短期目標は10月末

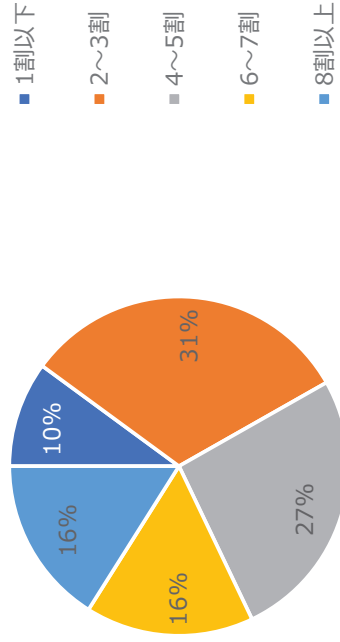
- 市場機会を特定し、（神戸PF等との）差別化
- ステークホルダーにおけるコンソの認知・理解・関与を高める

教職員における大学コンソーシアムひょうご神戸の認知



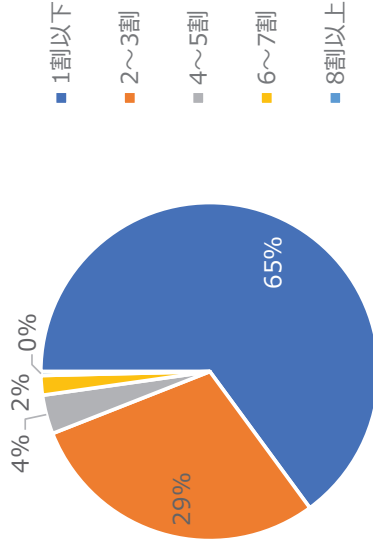
- 職員・教員におけるコンソソ認知は81%、理解度は59%。想定より認知されている状況。
- 特に一般職員の課長以下には、一定の認知があると言える（合計38%）また教授も合計17%認知されており、“知っている人は知っている”状態。

自大学の「職員」の何割が、コンソソを認知していると思うか？



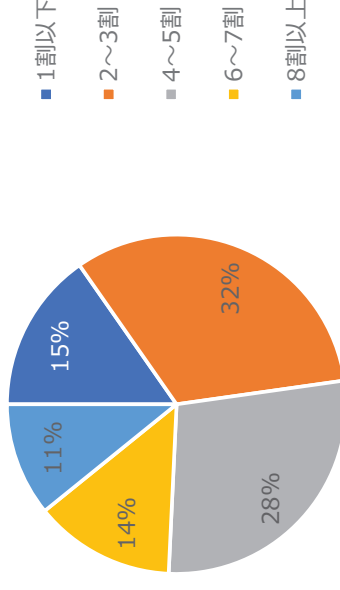
- 最も多いのが「2～3割」と回答（32%）。次いで、「4～5割」と回答（26%）。多くはないが、一定数の職員が知っていると感じている。

自大学の「学生」の何割が、コンソソを認知していると思うか？



- 過半数となる65%の人が「1割以下」と回答。自学の学生には10%も知られていないと認識されている。

自大学の「教員」の何割が、コンソソを認知していると思うか？



- 最も多いのが「2～3割」と回答（32%）。次いで、「4～5割」と回答（28%）。多くはないが一定数の教員が知っていると感じている。

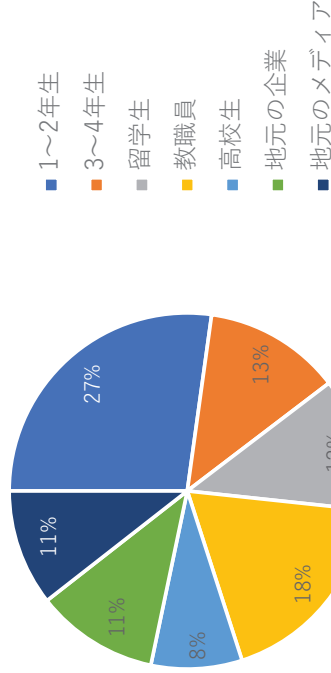
アンケート結果まとめ②

コンソの強み・特長と思うもの

加盟大学数	121	13%
加盟大学の合計学生数	48	5%
留学生ネットワーク	57	6%
留学生支援の実績	62	7%
キャリア支援の実績	41	4%
大学間の交流	178	19%
イベントの企画力	63	7%
地元企業とのつながりが深い	71	8%
産学連携の実績	77	8%
高大連携の実績	32	4%
FD・SDの実績	42	5%
加盟大学の教授や学生、OBOGの活用	25	3%
加盟大学とつながりある企業やスポーツチームなどの活用	28	3%
官公庁とのつながり	68	7%

913

コンソの認知アップのため、どの層をターゲットにすべきか



- 「1～2年生」を優先すべきとの声が多い。「3～4年生」向けの声を挙げる声は限定的。
- 「総合大学の教職員」を挙げる声が多く、いかに総合大学との交流を広げるか、リソース活用ができるかが1つの鍵と言える。

コンソのイベントの告知などは、どこで行われているか

学生向けホームページ	92	15%
留学生向けホームページ	22	4%
一般公開している大学のホームページ	79	13%
学生向けにメール送信	86	14%
留学生向けにメール送信	29	5%
学内の掲示板	161	27%
キャリア支援センター内の掲示板	35	6%
大学の公式SNS	26	4%
授業内で告知	15	3%
その他	55	9%
	600	

アンケートのまとめ

課題① 認知	教職員には一定認知があるが、加盟校学生の認知は10%未満。 ⇒ 学生の認知と利用促進を高めるべき！
課題② 理解	<ul style="list-style-type: none"> ・「大学間の交流」「加盟工数」「加盟工数」が強みと認識されているが、他は強みとしての認知が弱い。具体的なメ리트ポイントベースでない。 ・「加盟大学の教授や学生、OBOGの活用」「加盟大学とつながりある企業やスポーツチームなどの活用」等を活用できていない ⇒ 強みをより活用し、効果的・効率的なアピールをすべき
課題③ ターゲット	対象学生は、1～2年生ないし高校生向けに行うべき ⇒ ニッチターゲットではなく早期学生からの取込みを狙うべき
課題④ 伝え方	コンソの取組の告知は、掲示板や学内向け／一般向けホームページが主となっており、“それ以外にない”感がある。 ⇒ SNSなど、学生にもっと伝わるチャネル活用を！

加盟校の課題

- どの大学も共通するのは、入学者の確保、資金調達が主。
- 中小規模の大学に追加で共通して入るのは、認知やブランディングが低い、事務スタッフ不足。
- どの大学も喫緊の課題を抱えており、なんとかやりくりしている現状が見られる。

コンソ参画のメリット

- メリットとして共通するのは、学生の交流（他大学の学生やナレッジ等）
スタッフ目線では、職員同士の横のつながりや、研修などによる知識の補完が挙げられた。
- 私立の中小規模大学は、補助金採択のメリットも挙げられていた。
- 挙げられたメリットは教科書的なものも多く、実感値のある効果、課題解決につながるものかという意味では補助金の件を除くと、あまりないのが実情と言える。

コンソへの理想

- 全体的に、コンソへの理想像、希望はあまり挙げられなかった。
- 声としては、職員研修などスタッフ不足の解決が多く、中長期のゴールというより身近な課題解決であった。
- メリットの平等性や、大学同士がライバルでもあることから、大きく活用できる組織という認識されてない。「明確なメリット」の成功事例を作り、増やし、認識を変えることが重要。

<加盟校のメリットにつながるコンソの役割>

≡コンソのプレゼンス向上につながる取組みの方向性

1. PR・プロモーション

…各大学の認知度の向上・PR強化が入学生の確保や外部資金の調達に繋がること。

- ①学生によるSNSアカウント運用 ②共同開講

アンケートでも必要性は
示されていたもの

2. 学内業務の効率化

…若手職員に対して研修や、ナレッジの共有や機会提供、緊急時対応など

- ①FD・SDの共通化 ②共同調達 ③大学で働く契約職員の人材紹介

新たに必要性として
検討すべきこと

3. 外部資金の調達

…補助金や企業等から外部資金を獲得すること

- ①補助金・助成金サポート

<補足>

「学生同士の交流」「学生の学びの幅を広げる」ことは、一定できている、ベースとしてある認識。＝事業として最低限の位置づけに近い。ここを担保した上で、出資者である加盟校が実感値としてのメリットを感じる必要がある。